

平成28年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 40
ID 140301

【施設状況】

グループ名称	勤労青少年ホーム（中部、北部、南部）、中高年齢労働者福祉センター（サンライフ長野）										
指定管理者名	協同組合長野シーアイ開発センター					法人番号	9100005001363				
所管課	主	140300	商工労働課	副							
構成施設	1885	中部勤労青少年ホーム									
	1887	北部勤労青少年ホーム									
	1888	南部勤労青少年ホーム									
	1886	中高年齢労働者福祉センター(サンライフ長野)									
施設分類	01	企画型			施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・北部勤労青少年ホーム … 講習室、和室、調理実習室、談話室、体育館 ・中部勤労青少年ホーム … 講習室、和室、調理実習室、談話室、体育館 ・南部勤労青少年ホーム … 講習室、和室、調理実習室、談話室、体育館 ・中高年齢労働者福祉センター … 会議室、和室、談話室、体育館、トレーニングルーム 										
施設設置目的	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労青少年ホーム … 勤労青少年の福祉の増進及び健全な育成を図る。 ・中高年齢労働者福祉センター … 中高年齢労働者の雇用の促進及び福祉の向上を図る。 										
基本方針等	指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供するとともに、利用者が交流のできる、地域に根ざした施設となることを目指す。										
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労青少年ホーム … 各種講座の開催、施設の貸出、クラブ等勤労青少年の自主的な活動の支援 ・中高年齢労働者福祉センター … 各種講座の開催・施設の貸出 										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	協同組合長野シーアイ開発センター			指定回数	2 回	
指定期間	平成26年4月1日	～	平成29年3月31日	3年	管理運営開始日	平成21年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	H25	H26	H27	H28	対前年比	評価
		北部勤労青少年ホーム	人	27,472	27,900	28,515	29,426	103%	4
		中部勤労青少年ホーム	人	22,856	23,562	23,796	25,091	105%	
		南部勤労青少年ホーム	人	21,213	21,286	22,974	24,859	108%	
		中高年齢労働者福祉センター	人	64,077	70,853	73,231	74,336	102%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) 全ての施設で利用者数は増加傾向にある。									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用許可に関する業務 利用料金の収受に関する業務 施設、設備、備品の維持管理に関する業務 キャリア形成、再就職、就労支援のための講座を企画実施 			なし				
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設置目的に沿った事業内容とし、地域住民や利用者のニーズが反映された講座を開催する。 			なし				
サービス維持・向上の取組み (広報等)		<ul style="list-style-type: none"> 講座予約専用のホームページ上でインターネットによる予約（携帯電話も可能）を受けけることにより、利便性向上を図っている。 新聞の折込みチラシ、地区の回覧を活用して施設の活動をPRしている。 常に講座内容を見直して利用者の選択肢を広げたり、託児付き講座の開催により、子育て世代が受講し易い環境を整える等により受講者を増やす取組みを行っている。 							

3 利用者評価

区分	内容	評価
利用者評価	(1) 利用者要望把握方法 (2) 調査、会議等の内容 利用者アンケートを実施 ・実施期間 平成29年1月26日から平成29年2月21日まで ・回答者数 400人（4館合計）（1施設100人分×4施設）	4
	(3) 調査、会議等の結果 主な調査項目 ・接客態度 良好 84.50% (H27 88.00%)、普通 15.50%、悪い 0.00%、無回答 0.00% ・施設管理の満足度 良好 72.00% (H27 71.25%)、普通 21.75%、悪い 4.75%、無回答 1.50% ・講座内容の満足度 良好 65.50% (H27 79.25%)、普通 11.25%、悪い 1.00%、無回答 22.25%	
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 ・とても親切で親しみやすい。 ・施設の清掃がきちんとされている。 ・講師が大変丁寧に教えてくれる。 ・色々な知識、情報を教えてもらい、楽しい。 ・興味のある講座が多い。 ・挨拶をきちんとし、笑顔で対応してくれる。 など	4
	(2) 苦情・改善等の要望事項 ・施設が古い。 ・冷暖房の効きが悪い。 ・駐車場が少ない、狭い。 ・トイレが古く、使いづらい。 ・トイレを洋式にしてほしい など ≪対応措置≫ ・勤労青少年ホームの不調の空調は、順次交換とするが、耐震補強工事等に併せて更新するか総合的に検討する。 ・トイレ改修についても、耐震補強工事等に併せて更新するか総合的に検討する。 ・駐車場については、周辺に駐車可能な土地がないため、対応は難しい。	

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成28年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成28年度決算		平成27年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	28,000,000	利用料金	26,547,620	歳入	使用料	372,941	使用料	372,941
	指定管理料	62,003,000	指定管理料	62,003,000		雑（納付金）		雑（納付金）	
	委託料		委託料			行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
	販売収入等		販売収入等			その他		その他	
	その他収入	470,000	その他収入	452,296					
	計	90,473,000	計	89,002,916		計	372,941	計	372,941
支出	人件費	47,201,000	人件費	48,228,228	歳出	指定管理料	62,003,000	指定管理料	62,518,000
	設備管理費	7,800,000	設備管理費	7,432,575		委託料	374,760	委託料	
	備品購入費	100,000	備品購入費	87,784		需用費		需用費	
	修繕費	1,050,000	修繕費	1,140,426		役務費		役務費	
	光熱水費	5,200,000	光熱水費	4,657,904		使用料・賃借料	92,880	使用料・賃借料	1,205,856
	事業費	20,091,000	事業費	19,458,017		修繕費		修繕費	
	事務経費	1,955,000	事務経費	1,940,084		工事請負費	318,600	工事請負費	
	本社経費	4,017,000	本社経費	4,017,600		備品購入費	93,960	備品購入費	
	その他	3,686,000	その他	3,719,001		その他	92,748	その他	76,960
	計	91,100,000	計	90,681,619		計	62,975,948	計	63,800,816
自主事業	収入	2,906,000	収入	3,410,370					
	支出	2,400,000	支出	2,141,087					
	自主事業損益	506,000	自主事業損益	1,269,283					
損益		-121,000		-409,420	差引		-62,603,007		-63,427,875
人件費比率【人件費（賃金等）／平成28年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）									53.2%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				予算書では、1000円未満を切り捨てして作成をしたため					

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数)		
	・勤労青少年ホーム3館 館長3人(3人)、常勤職員9人(9人) ・中高年齢労働者福祉センター 館長1人(1人)、常勤職員7人(7人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/>
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか	<input checked="" type="checkbox"/>		

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	3
協定内容・指定管理者提案	
追加された内容、未実施の内容及びその理由 ・市内からの積極的な雇用を継続。 ・市内事業者から積極的に物品を購入。 ・地域行事への参加することに加え、館主催行事の際は、地区内へチラシや回覧を活用して参加を呼びかけしている。	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	総合評価 68
施設の有効活用	4	16	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
合計得点		68	

評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者は4館で153,712人であり、平成27年度実績の148,516人と比較すると103.5%、5,196人の利用者の増である。また、現在の指定管理者が業務を開始した平成21年度の実績101,106人と比較すると、152.0%、52,606人の利用者の増加である。 講座の企画では、講座終了時に行うアンケート等から、利用者の意見・要望を把握して、利用者ニーズに合わせた講座を開催していることが、利用者増加につながっている。 長野市が行った利用者アンケートでは、接客態度を「良い」又は「普通」の回答割合が100.0% (H27 99.0%)、施設管理の満足度を「満足」又は「普通」の回答割合が93.75% (H27 94.0%)と高い結果となっている。講座内容の満足度を「良い」又は「普通」とした利用者は、76.75% (H27 87%)と、昨年度から減少したものの比較的高い値となっている。 利用者及び近隣住民からの苦情や要望への対応、体調不良や負傷が発生した時の対応は迅速かつ適切で優れている。
------	--

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)
	勤労青少年ホームにおいて、講座開設に見合う受講料を確保する。	主催講座も含めた講座内容の見直しと工夫、周辺事業所へのチラシ配布等により、受講者数の増加を目指す。	クラブ活動の活発化、施設の知名度向上を図る取組みを行う。

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<ul style="list-style-type: none"> 余暇活動の充実の外に、労働法制に関する知識等の周知啓発など、他の施設にはない就労に役立つ知識や教養を提供することで、利用価値の高い施設を目指す。 老朽化した施設は、早期に修繕し、利用者の満足度の向上を目指す。
---------------------	---

指定管理者自己評価	C
<p>(1) 今年度の取組みに対する評価</p> <p>① サービス向上に向けての取組み</p> <ul style="list-style-type: none">・主催講座のタイトル、内容の見直しを図り、対象にあうよう努力した。・自主講座を企画し、より多くの方に利用いただけるよう努力した。(勤労青少年ホーム3館 32講座、345回／サンライフ長野 4講座、41回)・折り込みチラシ、広告などにより、定期的に独自の広報活動を実施した。・ウェブストレッチングを活用し、トレーニングルームの講座の充実を図った。 <p>② 業務の効率化に対する取組み</p> <ul style="list-style-type: none">・水道光熱費の月次管理を施設ごとに推進した。・クールビズ、ウォームビズ運動に取り組み、冷暖房温度の適正化を図った。・体育館に扇風機を準備し貸出を行い、熱中症予防を図った。・冷房装置を利用しない時には、動力系の電源を落とし、節電を図った。 <p>③ その他</p> <p>(2) 指定管理者業務実施上の課題</p> <p>(3) 次年度以降の取組み</p> <ul style="list-style-type: none">・自主講座の収益改善を図り、より多くの方が参加できるようにしたい。・クラブメンバーの募集支援のみならず、新規クラブの立ち上げができるよう主催講座を企画したい。・地域における認知度、利用度の向上を図りたい。	

【指定管理者自己評価基準】

A：計画や目標を上回る、B：計画や目標をやや上回る、C：計画や目標どおり、D：計画や目標をやや下回る、E：計画や目標を下回る